



花尾小学校 学校通信 No. 6

令和4年 6月16日 発行

北九州市立花尾小学校

はな お

校長 麻生 和 秀

『キープスマイル・ステイポジティブ』
「地域の特性を基に、知・徳・体・志を備えた児童の育成」



「マスクの着脱と熱中症対策」ご協力をお願いします>

いよいよ北部九州も梅雨に入り、今後大雨による洪水などの災害が心配される季節になりました。校区にも山や川があり、子ども達には、十分に注意喚起を行っていきます。ご家庭においても安全指導をお願いします。また、これから、気温や湿度も高くなり、熱中症の心配も出てきます。屋外でのマスクの着脱については、これまでもお知らせしてきた通り、屋外の活動では、外してもよいことを伝えています。しかし、子ども達は、これまでの蓄積から外さない子ども達も多くいます。学校では、その都度声かけをしていますので、ご家庭でも、屋外の活動では、マスクを外してもよいことの声掛けをお願いします。

県のコロナ警報が解除され、世の中の動きも活発になってきています。それを受けて、学校の教育活動もポストコロナに向けて制限はあるものの、少しずつ動き始めます。2年間でできなかった水泳学習・家庭科の調理実習・校外学習等十分に感染対策を取りながら行っています。本校は、児童数が多いため制限も多くなってしまいますが、その中で、創意工夫しながら進めていきたいと考えています。ご家庭の協力が必要になってきます。どうぞご理解の上、ご協力をよろしくお願いいたします。

5 年生「世界遺産キッズアカデミー」

昨年度から5年生の総合的な学習の時間では、「北九州市にある世界遺産（明治日本の産業革命遺産）」を調べ、発信していく学習を行っています。この学習を通して、自分の住んでいる町には、世界遺産があり、しかし、それは、あまり知名度が高くなく、自分たちで知名度を高めるための発信を考えることで地域への愛着、シビックプライドの醸成を図っていきます。この企画は、昨年度、県の世界遺産室からこの明治日本の産業革命遺産がある、北九州市・中間市・大牟田市の小学校1校ずつ選出され、3校で交流を行いながら学習を進めているものです。先ずは、3地区にある世界遺産についてリモートを使って3校同時に講師の先生のお話を聞く講座を3回行います。その後、学習する課題を見付け、実際に世界遺産の見学を行い、資料を集め、まとめ発信をしていきます。11月中旬に3校で発表会をリモート会議で行う予定です。北九州市の世界遺産をしっかりとアピールしてほしいです。

先日9日に、第1回目の講座の様子をテレビニュースで取り上げられました。子ども達が、真剣に話を聞き、多くの質問をしている姿から、子ども達の探究心が、育っていることが分かりました。

発表会が楽しみです。



6年生「わんぱく広場」リボン大作戦！」

桃園にある「わんぱく広場」が、リニューアルされることが、市の施策として決まり、そのわんぱく広場のリニューアルの企画に本校の6年生が参加することになりました。先日、北九州市建設局公園緑地部緑政課の担当者の方が各クラスに来られて、リモート授業とあわせて、事業の説明と今後の進め方についてお話をいただきました。これまで社会科の政治学習で学んできた施設整備がどのような流れで行われるのかのお話から、そこに係る予算等の話もしていただき、今回の公園の設計を花尾小学校の6年生にお願いしたいという内容でした。子ども達は、近くにあり、遊んだことのあるわんぱく広場を自分たちのアイデアを生かしてリニューアルできることに、目を輝かせ、その予算が3億円の事業であることにさらにテンションをあげていました。これから、各クラスで、どんな公園にしていきたいか実地検証を行い、アイデアを出しながら整備内容を考えていきます。そして、各クラスで出来上がった設計図を発表し合い、そのよいところを市の担当の方に取り上げていただき、今年中に市の方で一つの案にまとめていくようになるそうです。子ども達のアイデアが実現化されたわんぱく広場が令和6年度整備されるようです。どんな公園が出来上がるのか大変楽しみです。